

留学を通して学んだこと

薬学部2年 高橋一彩

今回の留学を通して、海外に対する印象が大きく変わりました。初めての留学でとても不安でしたが、初めての留学がスプリングセミナーのマレーシア留学で本当に良かったと感じています。

まず印象に残っているのは食事です。マレーシアにはマレー系、中華系、インド系など様々な文化があり、それぞれの影響を受けた料理があることに驚きました。日本とは味付けや使われている食材も違って、最初は少し戸惑いましたが、食べていくうちに美味しいと感じるようになりました。今ではマレーシアの食事が恋しいです。特に印象に残っていることは、ご飯屋さんに行ったとき、机の上に料理があるのに誰も食事をしていなくて不思議に思っていたら、時間になった瞬間にみんな一斉に食事を始めたことです。後から知ったのですが、宗教による断食の時間が関係していると分かり、同じ国でも文化や生活習慣が大きく違うことを実感しました。



次に、学校での経験もとても印象に残っています。授業や現地の学生との交流では、伝えたい単語が出てきても文章にすることが難しく、自分の英語力の足りなさを感じて不安になることもありました。マレーシアの人たちはゆっくり話してくれたり、分かりやすい言葉に変えてくれたりして、とても優しかったです。

さらに、休日のアクティビティでは観光地に行ったり、海で遊んだり、ショッピングをしたりして、実際にその国の雰囲気を感ずることができてとても楽しかったです。SNSとかで見るのとは違い、自分の目で見ることによって、日本との違いやマレーシアの魅力をよりリアルに感じることもできたと思います。



そして何より一番感じたのは、マレーシアの人の優しさです。挨拶をすると笑顔で返してくれたり、困っていると声をかけてくれたりと、日常の中で何度もその優しさに触れました。そのおかげで、不安だった海外生活も安心して過ごすことができました。

今回の2週間の留学を通して、言語が完璧でなくても、相手と関わろうとする気持ちがあれば伝わるということを学びました。でももっと英語が話せたらもっと楽しいだろうなとも思いました。これから英語力を高めて、より多くの人とコミュニケーションが取れるようになりたいです。